ほりいわお通信１１

平成 29 年 3 月 30 日発行

岩倉市議会議員　堀　巌

岩倉市の最大イベント「桜まつり」が 3 月 31 日（金）から 4 月 9 日（日）まで開催されます。毎年、お祭り広場のステージで、自分が作詞作曲したものを含め、数曲、歌わせてもらっています。今回は 2 日（日）の 11 時からのステージです。

桜まつりの前に行われる「五条川クリーン作戦」にも参加し、皆さんと一緒に清掃活動を行いました。

会議の合間を縫って、市内の介護施設でも慰問を兼ねて「さわやか音楽会」を行っています。

今後も幅広い活動を展開していきたいと思います。

また、行政書士の資格を活かし、身近なまちの法律家として、色々な相談にも対応させていただいております。何かお困りごとがありましたら、気軽にご連絡ください。

３月議会の報告

代表質問とは、市長の所信表明に対して会派を代表して行うものです。一般質問が６０分であるのに対し、９０分と長い質問時間が確保されています。

質問の趣旨を載せましたが、答弁内容の詳細は、議会のホームページからの録画中継や今後発刊される議会だよりをご覧ください。

市の合併に対する考え方を問う

「将来的には合併したほうがいいと思う」と中日新聞のインタビューに答えていました。

市長は、「今ではない。また、市民が決めることだ」と答えました。

私は、次のように強く訴えました。

「今後も生産年齢人口が減り、財政も一層厳しくなる。公共施設を１３％削減するという計画も動きだしている。少子高齢化、人口減少で、この先、新しい公共施設は、まったくできないのか。お先真っ暗ではないか。あれか、これかという選択の時代は、今に始まったわけではない。例えば、市民プールを建設した当時でも、財政が豊かとはいえないけれど、子どもたちに必要だと、執行機関が提案し、議会が判断したから建設した。そして、最近、その子どもたちの遊び場のプールを潰した。

就任前、そして、就任早々、「将来、豊かな小牧と合併」とか、今後の行政を語る上で、そんな夢のない話は、やめてほしい。岩倉市自治基本条例第 8 条をもう一度よく読んでほしい。「**市長は市民の夢を育て実現する存在でなくてはなりません**」

市が掲げる「緑の文化都市」という「緑」についてもっと考えるべき

岩倉市の五条川や農地などは、身近な自然として、大都市にはない、住環境を豊かにする大切な財産です。平成８年、北島町にある「自然生態園」の創設に携わってきた経験から、市が定める緑の基本計画にある「ビオトープネットワーク（緑の回廊）」を評価しています。

これまでも、一般質問で取り上げてきましたが、今一度、新市長の考え方を聞きました。

これまで、工事に取り掛かっている萩原多気線の植樹帯について、ビオトープネットワークの考え方を取り入れ、専門家の意見も伺いながら進めるという答弁がありましたが、市長は、「計画の見直しも含め、慎重に判断していきたい。」と一歩後退ともとれる発言をしました。

小中学校へのエアコン設置は子どもにとって良いことなのか

小さい頃からエアコン環境に居続けることで、子どもの成長過程において身体的に弊害が出るのではないかを危惧します。専門家の意見を聞きながら進める必要があるのではないかと思い質問しました。また、エアコンの整備で、夏休みが必要なくなるのではないかと問いましたが、市長は、答えられませんでした。

シティプロモーションとして寄与してきた五条川マラソンの復活をすべき

五条川マラソンの廃止は、車の迂回路が確保できないというのが理由の一つにありました。

しかし、南部に３か所めの高架ができたことによって、それが解消されると思います。経済効果やシティプロモーションの観点から、復活させるべきです。しかし、市長は、復活の考えはないようです。

「本当に市民のため」って何？？？

前市長の「本当に市民のためになっているのか」を引き継ぐようですが、私は、これまでの行政経験から、まずは職員が行う事務事業評価などの「行政評価」が基礎であり、同じ意味だと考えます。職員自身が事業を見直すことが必要です。保育園送迎ステーションの例を出し、約 1400 万円の総予算に対し、実利用人数が十数人であること、大都市圏で待機児童解消の方策として行われているが、それが岩倉市という市域の狭い所で効果を上げているのかということ、保育園の父母、保育に携わってきた職員の評価や意見も含め、総合的に判断して、経験上、5 段階評価で下から 2 番目くらいの評価になると発言しました。この事務事業評価的なことが行われていないのではないかと問いただしました。市長は、保育園送迎ステーションに対する評価を避けました。

議案審議の主な案件

私は、本会議、委員会及び協議会で積極的に手を上げ質問や意見を述べています。今後も言論の府としての議会を高めていきたいと考えます。

職員の給与水準に対する誤解を解きたい！

前市長も、現市長も同様にラスパイレス指数に対し疑問を呈しています。

岩倉市の職員の給与が高いと思われていますが、そうではありません。その誤解を解くように、他市のように、市のホームページでこのラスパイレス指数の問題点をきちんと説明して欲しいと進言しましたが、それもなされていません。誰もがおかしいというラスパイレス指数の呪縛から解き放たれるべきです。

新しい公共施設を１億円で建設？

五条川小学校敷地内に、新たに放課後児童クラブ施設が建設されます。今後、ニーズは高まっていくとの説明がありましたが、一方で、人口減少社会において児童・生徒数は減少していくことも予想されています。

代表質問にも取り上げた公共施設管理計画には、今後は新たな整備は原則しないと記述されています。

私は、必要なものは作らなければならないと考えますが、今後の社会情勢をみた場合、施設の複合化や多機能化を含め、柔軟な対応ができる施設にするべきだと思います。

よって、災害時の福祉避難所を兼ねることができるようにするなど、中長期的視野に立ち、今後のニーズ変化に耐えうる施設にすることを求めました。

人事に対する同意案件

教育委員会委員、固定資産評価審査会委員には同意しませんでした。

理由は、議事録が公開されていない又はされていても氏名が載っておらず、どのような発言をしたのかわからず、説明責任が果たされていないからです。

副市長の選任についても同意しませんでした。

理由は、人事評価制度を軽んじ、一人の主観だけで人選したこと及び保育園の民営化の意向が一致したという説明によります。

ご意見は、お気軽に hollyfxst@hotmail.com へ
ブログ　iwaohori.net もご覧ください。